

# 2021年上半期分 成田空港貨物取扱量

— 総取扱量（上半期）、3年ぶりに100万トンを突破 —

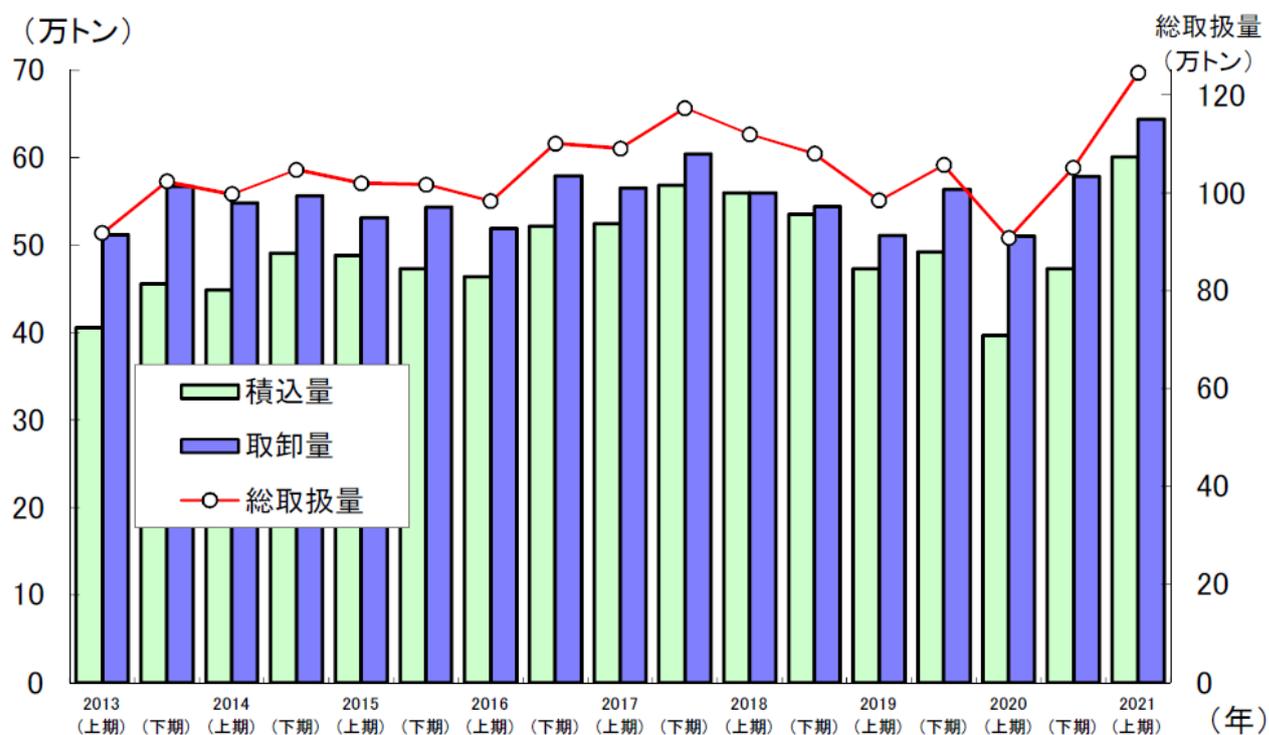
## 1. 概要

2021年上半期の成田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量	約 124万5千トン	（前年同期比	37.3%増）
積込量	約 60万1千トン	（同	51.6%増）
取卸量	約 64万4千トン	（同	26.1%増）

となり、前年同期比で総取扱量、積込量、取卸量ともにプラスとなった。

### 取扱貨物量の推移



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（成田航空貨物出張所）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関成田航空貨物出張所通関総括第2部門（TEL0476-32-6116）までお願いします。

## 2. 通関地域別動向について

### (1) 輸出量

成田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

成田地域通関	16万1千トン	(前年同期比	58.1%増、シェア36.8%)
その他地域通関	27万7千トン	(同	80.9%増、同63.2%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにプラスとなった。

### (2) 輸入量

成田空港において輸入された貨物量を通関地域別に見ると、

成田地域通関	38万5千トン	(前年同期比	27.7%増、シェア82.8%)
その他地域通関	8万トン	(同	18.6%増、同17.2%)

となっており、前年同期比で成田地域通関分、その他地域通関分ともにプラスとなった。

## 3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	16万3千トン	(前年同期比	15.2%増)
取卸量	17万9千トン	(同	26.4%増)

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともにプラスとなった。

## 4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (他官署通関分を除く)

2021年上半期の成田空港で輸入された貨物(成田地域通関分)を生鮮貨物、ドライ貨物別にみると、

生鮮貨物	5万4千トン	(前年同期比	14.2%増、シェア14.2%)
ドライ貨物	33万トン	(同	30.2%増、同85.8%)

となった。

### 成田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2021年上半期		2020年上半期	
成田空港輸入貨物量		384,727	(127.7%)	301,254	(98.5%)
内 訳	生鮮貨物量	54,482	(114.2%) [14.2%]	47,687	(83.4%) [15.8%]
	ドライ貨物量	330,245	(130.2%) [85.8%]	253,567	(101.9%) [84.2%]

注. ( )内は前年同期比、[ ]内は構成比である。